

- 令和元年度スローガン「変化でまちを元気に～最後のチャンスに逆転トライ!～」を掲げ、官民連携によるラグビーワールドカップ 2019 大会の成功とレガシー構築による地域活性化を主題として事業を推進。
- 令和元年度事業計画書に基づき施策・事業の展開。新たなラグビータウン熊谷のシンボル「スクラム!クマガヤ」のもと若手経営者を中心とした一体感ある自律的なまちの活性化とスポーツツーリズムの基盤整備につながった。
- 議員改選が行われ、11月1日の臨時議員総会において満場一致で大久保和政氏を新会頭に選任、大久保会頭による新体制がスタートした。

【重要施策1】 地域活性化・にぎわい創出に向けた諸施策の推進

- ◆ RWC2019 では、市のおもてなし部会（座長：藤間会頭）による熊谷の特色を活かした独自装飾、うちわ祭協賛会協力による山車の演出を実施。また、おもてなし部会の下部組織「One Team KUMAGAYA」（委員長：松本副会頭）で作成したラグビータウン熊谷の新たなシンボル「スクラム!クマガヤ」のもと、官民連携による独自装飾と市民参加型のおもてなし活動を展開。大会は 3 試合で観客数約 71,836 人、ファンゾーンも 10 日で約 71,791 人の入場者を得て成功裏に終了。
- ◆ RWC2019 と並行し、全国うどんサミット 2019（熊谷大会最終回）の開催を主導。また本年 1 月に開幕したラグビートップリーグ戦に合わせて市中活性化（飲食店応援）とパナソニックワイルドナイツ応援を狙いとして青年部が中心となりウエルカムナイツ事業を展開。なお、10 月に予定されていた熊谷圏オーガニックフェスは、台風のため中止となった。
- ◆ 市街地活性化について、まちづくり熊谷、熊谷市観光協会と連携し、シェアサイクル、ウエルカムイルミネーション事業、NEXT 商店街 PJ を積極支援。

(1) 第 9 回全国ご当地うどんサミット（第 3 回熊谷大会）（11/16・17）

- ・熊谷大会の最終回となる本大会を全国から 30 店の参加を得て熊谷スポーツ文化公園にぎわい広場にて開催。産業祭との同時開催により 2 日間で来場者数 14 万人（前回比+2 万人）、販売数 54,785 食（同+3,000 食）を記録。グランプリは群馬県館林の上州牛の炙り釜玉が獲得し、熊谷うどんは第 3 位となった。次回第 10 回の大会は開催実績のある愛知県蒲郡市に引継がれた。
- ・本大会に合わせて熊谷うどんとうどん王国埼玉の PR をかねてレシピコンテストを実施（優勝は「肉かぼちゃ豆乳うどん」）。また、うどんサミットのレガシーとして熊谷うどんの地域ブランド化を検討すべく日商の補助金を活用した調査研究事業を実施。



(2) キャッシュレス化推進事業（商業部会・生活サービス部会・情報サービス部会）

- ・WRC2019 のインバウンド受入態勢支援と消費税・軽減税率制度対応のため以下のキャッシュレス対応事業を商工会館大ホールにて実施。
- ① 埼玉キャッシュレスセミナー2019（5/13）参加人数 103 名：導入セミナー・展示会・個別相談会
- ② 軽減税率・キャッシュレス対応フェア（8/8）参加人数 41 名：決済事業者による展示相談会・推進コーディネーターによる個別相談会

(3) 商工会議所による RWC おもてなし機運醸成・支援活動

- ① 民間おもてなし活動（スクラム!クマガヤ参画事業・活動）の会報による紹介
- ② 公式グッズの販売コーナーの設置・各種イベントでの出張販売
- ③ ラガーシャツ制服化運動の継続推進（商業部会・広報委員会連携）
- ④ スクラム!クマガヤ PR ピンバッジの作成・配布（青年部）
- ⑤ RWC おもてなしエリア・PR ブース等への出店支援

(4) 市街地活性化の主な事業

- ① ミウラ折りまちなかマップの追加配布
- ② ウエルカムイルミネーション/RWC 拡張バージョン(9/6～2/29)
- ③ シェアサイクル運用開始(6 月)
- ④ NEXT 商店街プロジェクト
  - i. 星川夜市：毎月第 2 土曜日（平均）33 店舗出店・1,500 人来場
  - ii. くままーけつと(11/23)：子育て世代の女性主体による市営駐車場の屋上を利用したマルシェ
  - iii. 空き店舗活用：熊谷市空き店舗等活用支援補助金で 8 店舗開店



(5) 熊谷スポーツコミッションの設立（事務局：市スポーツ観光課）

- ・年度内 3 回の設立準備委員会（市ほか全 12 団体による委員構成・当所は会頭が委員として参加）の会合を経て、3 月末、「熊谷スポーツコミッション誘致戦略基本計画」を策定。
- ・熊谷スポーツコミッションは 2 年 4 月より稼働開始。スポーツツーリズム推進による交流人口・関係人口増加による地域経済の活性化を図る。

(6) パナソニックワイルドナイツ応援事業の展開

- ・1 月に再開したラグビートップリーグ戦のワイルドナイツ応援と開幕戦を含む熊谷開催試合の市中活性化を狙いとした事業を展開
  - i. ウエルカムナイツ事業（青年部）
  - ii. ワイルドナイツ応援バナーフラッグによるシティドレッシング（まち熊連携）
  - iii. 会報によるワイルドナイツ応援企画（広報委員会）

【重要施策2】 相談所活動を中心とした小規模事業所支援事業の推進

- ◆ 経営発達支援計画のもと、伴走型支援事業として、街なかゼミナール、ビジネスプランコンテスト、創業塾、熊勉会等を実施。RWC のおもてなし活動や NEXT 商店街 PJ などの担い手となった若手経営者等との事業間連携にも寄与。
- ◆ 県肝入りの経営革新計画支援事業では、目標 25 事業所に対し 24 事業所の計画承認を取得。専門家派遣は延べ 123 回。
- ◆ インバウンド及び消費増税対策としてのキャッシュレス決済普及に関しては商業部会等と連携してセミナーを実施。

(1) 相談所の活動状況

	事業所数	前年対比	延べ回数	前年対比
巡回指導	524	+1	1,919	▲181
窓口指導	478	▲50	855	▲63
創業指導	8	▲3	53	+34

	参加人数	前年対比		
専門相談員(個別)	264	+41		
専門相談員(集団)	756	▲78		
専門家派遣(回数)	123	+6		
	件数	前年対比	金額	前年対比
金融斡旋(県制度)	216	▲27	14.5 億	▲3.0
金融斡旋(公庫)	30	+17	1.7 億	+0.3
マル経資金	16	+13	84.4 百万	+73.8
	受託事業所	前年対比	対象従業員	前年対比
労保事務代行	289	+2	2,363	▲48

(経営革新計画承認件数)

	H27	H28	H29	H30	R1
目標	15	15	15	15	25
実績	11	16	25	26	24

(補助金申請支援)

- ・小規模事業者持続化補助金:支援 21 件 採択 19 件/845 万円
- ・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金:支援 2 件 採択 1 件/1,000 万円

(2) 第 5 回熊谷発ビジネスプランコンテスト -産官学金連携事業-

- ・応募 38 件(第 1 回 40 件、第 2 回 99 件、第 3 回 104 件、第 4 回 72 件)
- ・最終審査会・表彰式 2/8 於あすなつと 来場者 300 名
- ・受賞者
  - 最優秀賞(一般):世界で一つの熊谷発手染め快適ファッション(熊谷明美氏)
  - 最優秀賞(学生):Liveshop(アルス専門学校向井菜奈子)
  - ものづくり大賞:小麦粉も!!熊谷糰ベーグル(常名咲香氏)
  - まちづくり大賞:あんといれすくー@KUMAGAYA(原田勲氏)
- ・トレーニングセミナー(8/28、8/29)講師 渡辺政之氏他 参加者 67 名
- ・特別セミナー(9/25)講師 カウテレビジョン社長高橋康德氏 参加者 30 名

(3) 創業塾 (9/14~10/14 の毎週土曜日 5 日間)

- ・参加者 21 名
- ・テーマ:創業に必要な税務・法務、IT 知識、補助金活用、チラシ作成等

(4) 第 10 回街なかゼミナール 販路開拓支援 (11/1~11/30)

- ・参加店舗数 39 (前年比▲3)
- 市報折込チラシ 7 万部を配付し新しい顧客との接点の場を提供し経営基盤を強化

(5) 第 8 期熊勉会 異業種交流&ネットワーク構築支援 (10 月~3 月・毎月 1 回)

- ・受講者 22 名 講師 渡辺政之氏
- ・昨年度に続き「熊勉会同窓会」を開催(3/6)



【重要施策3】 政策提言・要望活動の推進

(1) 県連を通じた令和2年度施策に向けた国・県への要望活動

① 重点要望

- ・ 商工会議所機能の充実・強化について
- ・ 小規模事業者等支援の一層の強化について
- ・ キャッシュレス化への対応について
- ・ ものづくり人材の確保について

② 当所個別要望

- ・ 県北地域拠点施設の早期実現に向けた予算計上について
- ・ 熊谷渋川連絡道路の早期実現(17号熊谷バイパスの立体化)について
- ・ 利根川新橋の建設促進について
- ・ スポーツ・観光を軸とした地域活性化のためのインフラ・公共設備の整備と既存施設の運用について
- ・ 働き方改革推進に伴う総合的な支援策の構築
- ・ 埼玉県立高等技術専門校の充実

(2) 新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望 (3/17)

○ 県連を通じた大野埼玉県知事あて要望

- ・ 金融支援の拡充
- ・ 売上減少に伴う支援策
- ・ 経営相談窓口の更なる充実
- ・ 労働者の休暇取得に対する支援
- ・ 大手企業からの情報提供・下請業者への支援
- ・ マスクや消毒液などの物資の支援
- ・ 助成金・補助金の拡充

【重要施策4】 部会活動の推進

(1) 政策提言・要望活動以外の各部会の主要な活動

① 商業部会

- ・ さいたまキャッシュレスセミナー2019 (5月)
- ・ RWC ラガーシャツ制服化運動・民間おもてなし活動の紹介(6月)
- ・ 軽減税率・キャッシュレス対応フェア (8月)
- ・ RWC 民間おもてなし活動の紹介 (8月)
- ・ 令和2年度事業計画策定・役員選任 (2月)

② 生活サービス部会

- ・ さいたまキャッシュレスセミナー2019 (5月)
- ・ RWC ラガーシャツ制服化運動・民間おもてなし活動の紹介(6月)
- ・ 軽減税率・キャッシュレス対応フェア (8月)
- ・ RWC 民間おもてなし活動の紹介 (8月)
- ・ 令和2年度事業計画策定・役員選任 (2~3月)

③ 工業部会 (ものづくり熊谷連携事業)

- ・ ビジネスプランコンテスト事業への参画(7月~2月)
- ・ 先進工場視察会「太平洋セメント(株)熊谷工場」(10月)
- ・ 令和2年度事業計画策定・役員選任 (2月)

④ 建設運輸物流部会

- ・ 外国人雇用のための人事労務管理セミナー(10月)
- ・ 令和2年度事業計画策定・役員選任 (2月)

⑤ 情報サービス部会

- ・ さいたまキャッシュレスセミナー2019 (5月)
- ・ 軽減税率・キャッシュレス対応フェア (8月)
- ・ 令和2年度事業計画策定・役員選任 (2月)

(2) 新部会長の選任 (9/2 常議員会) 敬称略

商業：佐藤良孝 / 生活サービス業：岩崎研太郎 / 情報サービス業：田代充雄 / 工業：田所勤 / 建設運輸物流業：小川善司

【重要施策5】 支部会・委員会活動による事業活性化と基盤強化

(1) 当所基盤・組織力強化(総務委)

① 会員数・口数の状況

	前年度末	加入	退会	変更	本年度末	前年度比
個人	1,159	34	67	▲2	1,124	▲35
法人	1,697	39	58	2	1,680	▲17
団体	28	0	0	0	28	0
計	2,884	73	125	0	2,832	▲52
口数	17,889	386	376	843	18,742	853

② 基盤収益事業の状況

- ・ パソコン教室：年間事業収益 1,649 千円 (前年比▲479 千円)  
受講者数 延べ 2,469 名 (同▲589 名)
- ・ 共済制度(団体・個人)：年間手数料 24,640 千円 (同+318 千円)
- ・ 検定事業：年間事業収益 1,785 千円 (同▲1,161 千円)

③ 制度変更

- ・ 諸証明等徴収規則 (料率) の変更 (5/15 常議員会)
- ・ 特定退職金共済制度規約利率の変更 (1/7 臨時議員総会)
- ・ 労働保険事務組合取扱手数料の変更 (1/7 臨時議員総会)

(2) 委員会・支部会の新役員選任

・ 正副委員長及び委員の選任・委嘱 (12/2 常議員会)

【新委員長】(敬称略)

総務：小林肇 / 会員サービス：岡部聡史 / 地域振興：時田芳文 / 広報：福島良浩 / 商業観光振興：栗原正典 / 工業技術振興：野村泰豪 / 中小企業振興：及川亨

・ 支部会正副支部長の選任 (3/26 常議員会)

【新支部長】(敬称略)

熊谷西：栗原志功 / 熊谷南：山屋貴裕 / 熊谷東：井上浩 / 熊谷中央1：森田光春 / 熊谷中央2：萩原直幸 / 熊谷北：小林肇

(3) 委員会の主な活動状況

● 総務委

- ・ 創立80周年記念事業の検討 (1~2月)
- ・ 支部会正副支部長候補選任 (2月)

● 会員サービス委

- ・ 優良運転者表彰・永年勤続優良従業員表彰の選考 (4月)

・ 令和2年度活動等の事前協議 (2月)

- 地域振興委：スマートシティキックオフミーティングへの参加 (1月) 他
- 工業・技術振興委：ものづくり熊谷との連携強化に関する検討 (1~2月) 他
- 広報委：各月号会報の編集会議 (月例) 他

主要な商工業振興事業

- 第68回熊谷えびす大商業祭 ~市商連連携事業~ (10/31~11/3)
- ・ 福引大売出し：大型店5、市内27商店街参加の応募抽選方式による福引  
応募回収 28,168 / 配付枚数 203,000 = 13.9%

・ オ・ドレなおざね：20チーム・1千名、くまがやマルシェ：出店30団体

● 雇用対策事業

a. 地区雇用対策協議会の活動

- 新卒者求人説明会(5/22)：参加事業所 133社
- 高校等就職担当者と事業所との意見交換会(6/4)：学校 21校・事業所 75社
- 助成金説明会(10/23、11/27)：参加事業所 60社
- 正社員限定就職面接会(11/28)：参加事業所 22社・求職者 63名

b. 若者のための埼玉県北部地域合同企業説明会(6/14)

- 参加事業所 60社(うち当所会員 13社) 参加者数(高校~大学)589名

c. 埼玉北就職応援サイト ~北部商工団体連携事業~ (公開 10/1)

- 掲載事業所 207社・求人件数 130⇒14名応募(3月末現在)

● 商工業等販売促進助成事業

- ・ ケータイ写真コンテスト(籠原夏祭・うちわ祭) 50万円
- ・ 市場開放「秋まつり」 28万円
- ・ 熊谷市商店街連合会(えびす商業祭福引) 16万円
- 工業振興事業 ~ものづくり熊谷との連携事業~
- ・ 彩の国ビジネスアリーナ 2020 合同出店 出店事業所 7社(1/29~30)

定例事業等

● 議員クラブ

- ・ 視察旅行：観光とスポーツ振興先進地広島・呉 (6/19・20) 参加 30名
- ・ 幹事会役員改選：野村泰豪新幹事長就任 (12/18)

● 第38回地域中核企業との懇談会 (12/11) 参加者 32名

- ・ 講演 ワイルドナイツ 今後の熊谷における取組みについて PWKs 飯島 GM

□ 新体制下の新たな事業展開 (3/26 常議員会)

(1) R2 年度事業計画の採択

- ・ 事業理念：地域によりそい 会員とともに “まち”の未来を創る
- ・ 運営方針：委員会と部会を主体とした事業展開、支部活動・巡回活動による事業の継続と承継支援、創業支援力の強化、スポーツ観光都市としての地域活性化、商工会館再整備、創立80周年記念事業

(2) 商工会館再整備方針

- ・ 石山副会頭を委員長とする会館建設委員会において、年度内に新たな整備計画を策定する対応方針を採択。

(3) 新型コロナ対策

- ・ 飲食店応援サイト「テイクマ」の立上げ(4/7リリース)